



日本勤労者山岳連盟  
Japan Workers' Alpine Federation  
〒162-0805  
東京都新宿区矢来町108番地 第五奥見ビル  
TEL 03(3260)6331(代)  
FAX 03(3235)4324  
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は  
フリーダイヤル  
0120-44-2742  
(平日10~18時)  
E-mail:jwaf@jwaf.jp

# 清里で登山フェスタ開催



大交流会の第1部は山の音楽会 (美し森野外広場ステージ 9月18日)

## 登山の未来を考える

### 全国から150団体533名の会員が参加

NPO法人みろく山の会と懇談会  
05年10月26日に横浜市にある「みろく山の会」(会員8023名)と大型クラブの諸問題について意見交換をしました。

月19日の交流登山を皮切りに、21日の閉会式まで「日本の登山と登山の未来を考える」をテーマに語り合う登山会員の熱気で盛り上がりました。北海道から九州まで36都道府県から約1500団体533名(受付確認数の会員が一同に会し、山に登り、講演を聴き、意見を述べ、歌い踊る、多彩な内容でした。交流登山は健脚向きの赤岳(2899m)に70名以上が登頂。皆、真っ黒に日焼けしました。作家「椎名誠氏」の記念講演は回収したアンケートで一番良かったイベントとして多くの人が回答していました。

## 日本勤労者山岳連盟第27回総会

日時 2006年2月18日(土)午後1時開会。  
2月19日(日)午後1時閉会予定  
会場 晴海グランドホテル  
宿泊 東京都中央区晴海3-8-1  
電話 03-3532-6030  
http://www.maxpart.co.jp/harumi/  
議題  
1 第26期の活動総括  
2 第27期上期(2006年度)活動方針  
3 第26期の財政活動総括と決算報告及び27期の財政方針、予算の策定  
4 全国役員を選出  
5 その他

代議員・傍聴者の登録は、1月23日(月)までに全国事務局に提出して下さい。Eメール、FAXでも結構です。

### 日本勤労者山岳連盟



完成イメージ図

## 新事務所の工事を発注

### 太陽光発電装置も設置

来年早々に着工して、6月には竣工する予定で現在、細かい打合せをおこなっています。完成をお待ち下さい。

好天に恵まれた登山フェスタ  
20年ぶりに山の中で開催された全国経験交流集会「2005登山フェスタ」は目標としていた500名を上回る参加者で、好天にも恵まれ無事終了しました。  
八ヶ岳・清里高原は9



閉会式で合唱する参加者

## 憲章第2次案を討議

### 第13回全国登山者自然保護集会

全国から意見を  
持ち寄り討議

第13回全国登山者自然保護集会が、11月19日(土)・20日(日)に愛知県瀬戸市の愛知県労働者研修センターで開催。主催は、愛知県労働者山岳連盟。参加者は、二日間延べ564名という過去最大の自然保護集会。

この集会は来年2月の登山者自然保護集会に提案される「登山者自然保護憲章」について、今年5月以来、全国各地での憲章討議を持ち寄り、討議を深め、検証をし、あらたに見直す機会となりました。

田口康夫氏による『砂防ダムと溪流環境』。憲章制定へ流れは大きく強く



熱気あふれる全体集会 (愛知県瀬戸市)

## 総会第一次議案

(3~6面)

# 全国の533名の仲間が集い、語った

## 2005登山フェスタ清里集会 集う語る21世紀登山の未来

### ゆたかな登山を求めて

#### 参加者は6分科会で積極的議論と交流

### パネルディスカッション

「21世紀明日の登山を徹底討論」のテーマで登山者、自然保護の立場で学芸員、藤義孝理事長が司会。日本ヒマラヤ協会の山森欣一理事長は「このままでは山岳団体は地盤沈下してしまう。国の認定のプロガイド制度を作って高校生登山者」を指導育成すべき」と発言。自然保護の立場で学芸員、藤義孝理事長が司会。日本ヒマラヤ協会の山森欣一理事長は「このままでは山岳団体は地盤沈下してしまう。国の認定のプロガイド制度を作って高校生登山者」



日本の登山を徹底討論 (パネルディスカッション)

### 分科会・説明会

フェスタの中心となる行事が参加者が意見を交換し合う分科会でした。参加者が多いため、同時に遭難対策の講習会をおこないました。分科会が多く活発な議論になりました。特に第一分科会の「会運」



ハイキング (第5分科会)



女性のひろば (第6分科会)

### 大交流会

中秋の名月に輝く野外特設ステージは音響、照明設備も整えられ、「うたごえ喫茶・ともしび」出身の青柳常夫さん、唐土久美子さんの山の歌からスタート。「ヤギさん」率いる楽団

の演奏で山の歌三昧、そして参加者全員と大合唱の歌声が、続いて「全国アトラクション交流会」。各地からの出し物の競演。歌あり、コントあり、フラダンスあり、演奏ありでやんや

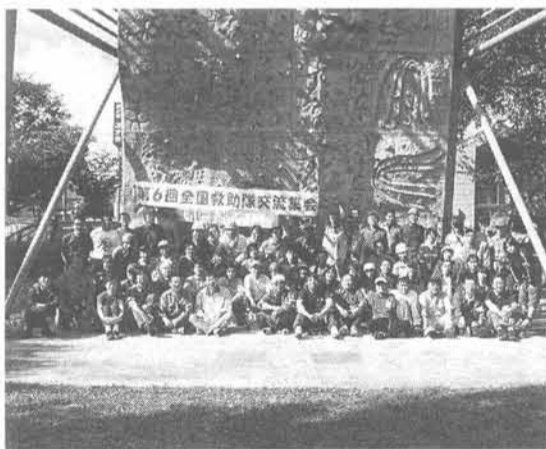


歌声イン ミッドナイト

### チームレスキューを実施

#### 第6回全国救助隊交流集会

初日はセルフ、二日目はチームレスキューを実施。各県連盟からの感想より裏に終わったと感じました。「参加して良かった」と毎



盛岡市内のクライミング施設

### 多彩な海外登山報告で充実

#### 全国海外登山集会

今年初の全国海外登山集会は11月19日・20日の両日、東京のオリンピック記念青少年センターにおいて東京都連盟の主導で開催。



記念講演の橋本しをりさん

登った記録、10座目になった全国8千m峰登山のG1峰等と多彩な海外登山報告となり、充実した集会となった。

### 幕岩でクラミング講習会

青年学生委員会

取面副理事長は「久しぶりに若者と登るのも楽しい、若い人ががんばって欲しい」とのことでした。

### パキスタン山岳に見舞金

全国連盟では友好団体で

あるパキスタン山岳会に対し、千ドルの見舞金を国際関係費から支出し送金しました。義援金も12月20日まで受け付けました。

### 富山地裁で最後の証人尋問

第15回大目岳裁判

10月12日に富山地裁にて、最後の証人尋問が行なわれ、国側証人は登山研修所講師のY氏が、原告側は裁判当事者の遺族内藤悟氏



遺影をもって裁判へ

具体的目標は未定ですが、9月から10月にかけて50日間程度の日程が取れそうな方でこの計画に興味をお持ちの方は是非お問い合わせください。

# 登山第27回全国総会第一次議案

## 全文掲載

第27回総会の主な議題は次のとおりである。

- (1) 第26期下期(2005年度)の活動総括
- (2) 第27期上期(2006年度)の活動方針
- (3) 第26期下期(2005年度)の一般会計、特別会計、遭対基金会計の決算報告
- (4) 第27期上期(2006年度)の一般会計、特別会計、遭対基金会計の予算案
- (5) 規約・規定等の改訂案
- (6) 全国連盟役員、遭対基金管理委員の選出
- (7) その他

### 【1】第27回総会の目的と意義

1、登山をめぐる日本と世界の情勢は、きわめて大きな変化にさらされている。特に国内の情勢はある意味で、「危機的」と言ってもよい状況である。登山文化は平和で豊かで、そして安定した社会の土壌があったからこそ、大きな発展を遂げることが可能となった。この数年、日本の平和と民主主義は、戦後もっとも危険な挑戦を受け続けている。一部大企業の空前の大儲けをよそに、大多数の勤労者世帯は数年続きの収入減となっている。そして少子高齢化の進行、国の社会福祉や医療制度の相次ぐ後退や増税による国民負担増は、多くの国民を生活苦や将来不安に陥れている。青年層の就職難やフリーター化なども深刻で、パートや人材派遣会社などの不安定雇用者の大量増加をまねき、多数の青年達が将来の生活設計を築けないでいる。ごく一部の富裕層と圧倒的な国民多数とに分かれ、日本は今や経済的な二極化の社会となりつつある。自殺者やホームレスの増加や、若年層の凶悪犯罪も急増しており、閉塞感や社会全体を覆っている。

わたしたちは登山をめぐる日本と世界の情勢を正確に把握しつつ、21世紀の登山文化の継承発展の担い手として、新たなチャレンジを行いたい。このような情勢の中で、登山は社会的にどのような役割を果たせるのかを明らかにし、そして登山がそれらにどう貢献できるか、どういう登山活動を展開できるかを議論したい。

2、登山が取り組むべき、当面2010年までの「中期的な重要課題」を次のとおりとする。

- (1) 数百万の登山愛好者の存在を視野に、国民的な登山の普及と発展の立場で、会員の拡大を図る。5万、10万の組織を長期の目標としつつ、「当面2010年度まで」に3万人の会員を実現する。
- (2) ひきつづき、中高年を中心とした遭難事故の防止に全力をあげると同時に、技術教育の各分野の活動の一層の強化に取り組む。
- (3) 21世紀登山の展望を見いだすべく、アルピニズムの活性化や、百名山にとどまらない新たな中高年の登山文化の形成を模索する。
- (4) 21世紀の登山者と自然の新しい関係を築く「登山自然保護憲章」を策定し、登山と自然の共存の活動にこれを生かし、普及と実践に努力する。
- (5) 登山の将来の後継者育成の活動では、登山界の次期指導者である40代の育成を急ぎつつ、10、30代の将来の登山界の担い手の組織化と育成という、2つの大きな課題に、登山組織をあげてチャレンジする。
- (6) 日本の登山界の発展の継続のため、山岳4団体も含め組織の垣根にとらわれない共同の活動に一層積極的なイニシアティブを発揮する。
- (7) アジアの登山団体の一員として、平和と友好の国際活動に取り組む。アジア山岳連盟や国際山岳連盟をとおしての活動だけでなく、登山独自の活動も行なっていく。

0年度までに3万人の会員を実現する。中高年を中心とした遭難事故の防止に全力をあげると同時に、技術教育の各分野の活動の一層の強化に取り組む。

21世紀登山の展望を見いだすべく、アルピニズムの活性化や、百名山にとどまらない新たな中高年の登山文化の形成を模索する。

21世紀の登山者と自然の新しい関係を築く「登山自然保護憲章」を策定し、登山と自然の共存の活動にこれを生かし、普及と実践に努力する。

登山の将来の後継者育成の活動では、登山界の次期指導者である40代の育成を急ぎつつ、10、30代の将来の登山界の担い手の組織化と育成という、2つの大きな課題に、登山組織をあげてチャレンジする。

日本の登山界の発展の継続のため、山岳4団体も含め組織の垣根にとらわれない共同の活動に一層積極的なイニシアティブを発揮する。

アジアの登山団体の一員として、平和と友好の国際活動に取り組む。アジア山岳連盟や国際山岳連盟をとおしての活動だけでなく、登山独自の活動も行なっていく。

### 【2】登山界をめぐる情勢

(1) 登山をめぐる国内外の情勢

日本経済は長い不況を脱し、大企業を中心に2005年9月の中間決算では過去最高益を更新する企業が相次いだ。公的資金投入を行なった大銀行も合併と不良資産の処理を進めた結果、誕生したメガバンクの経営は急激に改善され、膨大な利益をあげるにいたった。その一方、中小企業では依然として倒産件数が高いレベルで推移している。雇用情勢も僅かに改善されているが、多くの企業は長期間のリストラにより大量の正規社員を退職または解雇して、パートや派遣社員などの非正規社員に置き換えて人件費の膨大な削減をはかってきた。これらの結果として、日本の企業労働者の雇用構造は大きく変化した。企業の正規社員は369万人減り、非正規社員は563万人増(05年「労働経済白書」となっている。2006年度はやや改善されているものの大企業や高校新卒の就職難が続

き、地方によっては高校卒業時の就職率が50%を下回ることもあり、青年のフリーター化が一層進行している。フリーターとは厚生労働省など国の定義によれば、15、34才(学生と主婦を除く)の青年層でパート・アルバイトで仕事をしていないかまたはしていない人、または正社員や派遣社員を希望しているが現在無職の人をさし、内閣府の「03年版国民生活白書」によれば01年でフリーターは417万人、青年層の5人に1人がフリーターになりその数は増え続けている。一方リストラで減らされたために残った30代正社員の残業が増え、週60時間以上働く30代正社員は25・64%と4人に1人が、同じく20代社員は20・19%が週60時間以上働き、5人に1人が国が定める過労死ライン(月80時間以上)の残業時数(月)を超過している。企業労働者の健康が極めて危険な状態にさらされていることを示し、裁量労働制の導入など相次ぐ国の労働法制の「規制緩和の名の改悪」後の退社とともに大きな問題となっている。労働組合運動の全体的な地位低下により、労働現場は今や国際的にも異常な無法状態となっていることを示している。

このように一部大企業の「一人勝ち」状態の中で、勤労者世帯の実質収入は福祉や医療制度の改悪による負担増もあって毎年低下し続け、貯蓄のまったくない世帯が23・8%と、1963年以来の水準に下がり、特に単身世帯では41・1%が貯蓄無しという状態である。日本の生活困窮者は急激に増え、生活保護世帯やホームレスの数が増えている。「わが世の春」をうたう財界は、政府にさらなる医療制度の改悪や消費増税アップを要求しており、大多数の勤労者国民の生活の将来は、「小さな政府」を標榜する小泉政治のもとで富める一部階層と圧倒的に多数の弱者である一般庶民の二極化の、ヘセーフティーネット無き弱肉強食の社会と化しつつある。

国と地方を合わせた国債などの借金は7兆円をほかに越えつつ、依然として不要なダム、高速道路や国際空港の拡張工事などが公共工事の継続や、米軍基地のための相違わずの「思いやり経費」の予算化など、財政再建とは遠い。またフリークライミングでは、若者を中心に長いルートクライミングを行わないうボルダリングが流行しているが、これも縮小の現れなのだろうか？

中高年登山の特徴もなつた「百名山ブーム」は、「新百名山」なる新たな装いも登場したが、達成した登山者も増えるにつれ、一時期のブームは去ったと言える。

登山フェスタでも指摘されていたが、山小屋の宿泊客、登山用具店の売り上げ、山岳会の会員数、山の入山者数等が大幅に縮小している。

しかしこのような状況の中でも、地道に自らの課題を追求している登山者の存在、最近山に若者の姿が目につくようになってきたという事実、また2007年からは本格的に「団塊の世代」の大量退職も始まることとしている。

これらの諸条件の変化を、縮小した日本の登山界を再び活性化させる転機としていかなければならぬ。

海外高峰登山の動向

2005年アレモンスリー(8848m)の気候は相変わらずである。チベット側、ネパール側合わせて40隊あまりと過去最高の人数が出た。チベット側ではチベット登山協会が、ルートワークをラッセル・ブライズ隊長率いる公募隊に一括委託し、他の隊からはひとり100米ドル徴収する方式が出現。悪天候にたたられ、例年より登頂日は遅れたが、登頂者は80人(チベット側から173人、ネパール側から107人)と昨年次に次ぐ人数であった。アンナプルナー(8091m)ではアメリカのエド・ウィスチャースが5月12日に北面から登頂し、世界で12人目の8000m峰14座登頂者となった。

カンチエンジュンガ(8586m)とマカルが今年初登頂50周年を迎えたが、アレモンスリー登頂の山料半額にもかかわらず挑む人もまばらで、50周年のエベレスト(03年)とK2(04年)の賑わいとは対照的であった。

夏になると昨年、初登頂50周年で賑わったK2(8611m)には今年、9チーム約50人が挑んだが、悪天候にたたられ、登頂者ゼロに終わった。悪天候の影響はプロード・ピーク(8047m)も同様で、通常ルートからの登頂者はなかった。しかし、カザフスタン隊が南西壁直登の新ルートでアルパインスタイルで登ったのが注目される。

一方、ナンガ・パルバットでは標高差4500mの南壁(ルパール壁)がメスナー以来35年振りに韓国隊の2人によって登られた。また、南壁ではアメリカ隊により新ルートも開かれた。

その他の注目すべき登攀としては、2004年、10月イギリスのイアン・パーネルとアメリカのジョン・ヴァーゴがインド・東部ガウルールヒマラヤのサーフ・ミナル(6911m)北西壁をアルパインスタイルで登っている。彼らはヒマラヤの新しい課題に挑戦するクライマーとして注目を浴びている。

昨秋、学生ばかりで構成された日本山岳会学生部隊(和田岳隊長ら5人)がネパール・ムスタンのチア・ヒマール(6650m)に入山し、9月18日に和田隊長ら4人が初登頂に成功した。

人気のエベレストでは今春、日本人の登頂者は、チベット側から4人、ネパール側から3人の計7人(うち女性1人)であった。これで日本人のエベレスト登頂者の数は延べ125人(実113人、うち女性9人)となった。また、チベット側から挑んでいた日中友好女子合同医学登山隊(日本側橋本しを隊長)は中国側の隊長ら2人が登頂したものの、日本側隊員の登頂はなかった。

夏、ナンガ・パルバットの西壁通常ルートに挑んでいた群馬県岳連隊(剣持典之隊長ら6人)の全員が7月15日に登頂した。この結果、隊員の田辺治はパキスタンの8000m峰5座全てに登頂した事になった。

日本山岳会(JAC)東海支部隊が、JAC創立100周年を記念してインド・スピティ地区北部のパレ・チュ川源流に入り、複数の初登頂に成功した。鈴木常夫隊長ら3人は8月2日、6206m峰に初登頂。翌日、隊長を除く2人が6100m峰(推定)峰にも初登頂を果たした。また、別隊の水野起己隊長ら6人は8月4日、水野隊長を含む5人がダウン(6200m)に登頂した。

中国ウイグルのムスターグ・アタ(7546m)では、平出和也と谷口けいが東稜から西面通常ルートへの縦走をアルパインスタイルで成し遂げた。また、同峰で山本正嘉が短期速攻登山への興味深い登山を行った。鹿屋体育大学の教授である山本は、事前に国内で常圧低酸素トレーニングをし、通常ルートから、BCに入ってから7日目で登頂に成功した。運動生理学の研究者である彼は近年、自分を実験台としてこうした登山を実践している。

③ 登山の海外登山

昨秋、10月から11月に神山の会隊(菊池直行隊長ら2人)がネパール、ニレカ・ピーク(6159m)に登頂した。冬季にはネパール、ダンパス・ピーク(6012m)に札幌中央登山隊(佐藤信二隊長ら3人)が入っている。05年1月から2月には練馬山の会の河野千鶴子が南米アコン

カグア(6962m)に登っている。南米では他に、札幌中央山岳(佐藤英樹隊長ら4人)が5月から6月にエクアドルのチンボラソ(6310m)に入り、6月から8月に掛けてペルーでは大阪ほっぽ会隊(杉山豊隆隊長ら2人)のワスカラン(6768m)、トクヤラフ(6032m)、ランラパルカ(6162m)、滋賀・彷徨倶楽部隊(秋田誠隊長ら2人)のワスカラン、東京・C.C.昂隊(広岡敏幸隊長ら2人)のワスカラン、ランラパルカ、インシカ(5530m)、アルテンソラフ(6025m)、カラス(6025m)、東京・ぶなの会隊(岡村孝行隊長ら2人)バルカラフ西峰(6110m)、サンタクルス南峰(6259m)、さらに大阪ほっぽ会隊(早川俊隊長ら3人)のチョコピカルキ(6356m)がある。また、ポリアのワイナポトシ(6088m)他に神奈川・カモの会の田草川英明が入っている。

プレモンスーンのネパールには東京山岳倶楽部の猪熊隆之がランシサ・リ(6477m)に挑んだが、失敗している。8月から9月にかけてネパール・イムジャツェ(6160m)に東京山岳会の芦田春久が入っている。

中国ウイグルのムスタグ・アタには7月から8月に掛けて福岡・大牟田大蛇山同人山隊(木下育美隊長ら2人)が入り、登頂に成功している。

全国連盟8000m峰登山隊は、今夏は近藤和美隊長ら7人の構成で、パキスタン最後のアン・ツェリンブルム峰(8068m)に挑んだ。ルートは西稜に探り、7月28日、藤川隊員と3人の高所ポーター(HAP)が登頂に成功した。しかし、2次隊は8月5日、1人のHAPの転落死亡によって登山の終焉を迎えた。これで8000m峰10座に登頂した全国連盟隊であるが、残りはカンチエゾンジュンガ、マカール、アンナプルナーとチョー・オユエーである。チョー・オユエー以外はかなりの困難が予想される山である。強力な隊の構成が必要であり、たぐいまたの挑戦へ準備中である。

④海外部門の協力・協同と国際活動  
 日本山岳協会海外委員会へはこの1年も山岳海外委員である近藤和美1人の派遣となった。日本の他の山岳団体との協力・協同の先鞭を付けたのは、日山協海外委員会へ委員を送ったこと。海外委員会の活動は、山岳界共通の課題に協同で取り組むという気運は遭難対策や自然保護活動にもますます広がっている。日山協海外委員会はかつてその大きな役目であった、ネパール、パキスタン登山許可取得上の推薦状問題が消滅し、今では海外の分野における共通の課題に協同で取り組む場となっている。今後とも協力・協同の精神もこの方向を進めて行きたい。

来年はマナスル初登頂50周年の記念の年であり、日本とネパールの国交樹立50周年でもある。それにちなみ山岳もネパール登山協会(NMA)と合同登山を実現したいと思っている。NMA会長のアン・ツェリン氏が来日した10月、合同登山

山岳界で合意し、全国理事会では海外委員会を窓口としてその事に取り組みたいと確認された。登山としてこれまでになかったネパールとの交流に向けた、来年の展開に期待したい。

⑤海外登山の普及と発展・遭難防止  
 高所登山の基本的には「確実な高所順応、冬山の基礎・基本技術、生の現地情報等」であり、ヒマラヤの高峰に気軽に入れるようになってこの基本は変わらなれないと思われ、これからの海外委員会は、海外登山を志す人材の育成、会員同士の交流を図りつつ、海外登山の普及と発展に努めていくつもりである。

③【3】山岳の各分野の活動と動向  
 (1)「山岳フェスタ清里集会」について  
 全国経験交流集会として1999年(東京で開催)以来、山で行なう全国経験交流集会としては実に1985年の妙高高原での「山岳フェスタ」以来、山で行なう全国経験交流集会として、530名余の会員を集めて久しぶりの大規模な交流の場となり大きな成功を収めることができた。改めて事実上の主幹役を果した山梨山の会や長野県連盟の大きな協力を感謝すると同時に、参加された地方連盟や会員のみなさんそして山岳界から集会の成功に協力いただいた関係者のみなさんにお礼を申しあげたい。集会后に全国連盟に寄せられた感想や地方連盟や各会の機関紙誌の記事でも、ほとんど大半がこの集

会を積極的・肯定的に評価するものでした。山で行なう集会はさまざまの準備を伴い、準備する全国連盟側もこの規模の集会の開催は初めての役員がほとんど、初めの会場探しから困難なものがあつた。それでも当初の三百人規模から、地方連盟の要望にも応えイベントも含めて五百人規模での開催可能な会場が確保できたことは大きかった。参加者の要求にこたえるための集会の内容も多彩で、多くの全国理事や各専門部・委員会が担当する各分野や分科会、講習会の開催の準備に没頭しつつ、日常の活動もこなすというハードな状態が開催直前まで続いた。

結果として会場側の制約や主催側の準備不足などでの参加者の不満はあつたものの、椎名誠氏の講演初め、パネルディスカッションや各分科会、大交流会(中高年参加者には圧倒的な人気があつた)、遭難基金や遭難対策部の講習会など、それぞれ反省点もあつたが参加者の評価の声が多かった。交流登山は、山の上での交流行事は特に相まなかつたが、心配された山岳フェスタ清里集会」は、530名余の会員を集めて久しぶりの大規模な交流の場となり大きな成功を収めることができた。改めて事実上の主幹役を果した山梨山の会や長野県連盟の大きな協力を感謝すると同時に、参加された地方連盟や会員のみなさんそして山岳界から集会の成功に協力いただいた関係者のみなさんにお礼を申しあげたい。集会后に全国連盟に寄せられた感想や地方連盟や各会の機関紙誌の記事でも、ほとんど大半がこの集

は、これから模索する段階といえるのではないだろうか。しかし参加者の多くが全国の仲間との交流を深めたいという思いが強くあつた。集会の大いなる成果であった。これは明日の山岳の運動への糧となり、新たなエネルギーになり得るものと確信する。

(2)山岳の組織の動態と組織活動  
 山岳の組織は2005年11月末現在、( ) 団体( ) 人となり、前年と比べて( ) 団体( ) 人( ) となった。依然として組織の停滞傾向は続き、組織拡大への抜本的な運動の見直し、大胆かつ柔軟な対策が求められている。山岳フェスタでも感じられたが、組織の高齢化もさらに進行している。運営が困難で退会する会や、連盟費の高さを理由に脱退したいと申し出る会もある。改めて山岳界に加盟することの意味や山岳の地域に存在することの社会的な意味を、わたしたち自身も問い直しながら、山岳界に加盟してプラスになった、いい仲間と楽しい山登りができるようにしたい。この山岳界の組織に必要とされる。特に山行中スズメバチに刺され、ヘリで救助されるケースが頻りに起きている。活動の実態を把握し、困難をかかえている会への励ましや必要な援助を行い、各加入団体の活動の交流にも一層努力して欲しい。

(3)遭難事故の状況と遭難対策活動  
 日本国内における山岳遭難事故は、2004年度の警察庁発表山岳遭難事故統計で2004年の発生件数1321件(609人、死亡17人、行方不明者267人)となった。2003年度より遭難事故者、件数とも若干減少しているが死亡・行方不明者は36名の増加となっている。統計を始めた1961年以降、統計の塗り替えに歯止めを掛けたと判断するには早計であると考えられる。死亡事故の増加にいたっては高齢者特に男性の単独行での事故が目立ってきているように思われ、その要因には山に対しての過信と総合的な衰え、体力、バランス、判断能力、循環器不全などメデイカル障害などが挙げられる。

2005年に入っても中部山岳地域で3000m級の山々で高齢者単独の遭難事故が毎週のごとく報道され、その殆どが死亡事故に至っている。また自然界でも大きな変化があり、新潟を初め多発する大規模な地震、温帯的な集中豪雨による被害も多く発生している。各地でおきる沢の遭難事故、白馬岳の土砂雪崩などもその因果関係にあると分析できる。また、最近の特徴として動物・昆虫の咬傷による事故が多発している。特に山行中スズメバチに刺され、ヘリで救助されるケースが頻りに起きている。活動の実態を把握し、困難をかかえている会への励ましや必要な援助を行い、各加入団体の活動の交流にも一層努力して欲しい。

(4)山岳自然保護の動向  
 ①地球温暖化による山岳自然と生態系への影響はさらに深刻  
 04年の日本列島では、月平均気温が20℃以上で4ヶ月以上続く「亜熱帯」気候区が宮城県・山形県まで北上した。05年の紅葉前線は、平均半月以上も遅れからくる遭難事故が大半を占めている。

②山岳内における遭難事故  
 2004年度の遭難基金

の事故一報から、遭難事故者307名、死亡者5名。2003年度中に起きた事故と比較すると遭難事故者は18名、死亡者は6名減少した。日本国内で発生状況と同じく右肩上がりに増える事故に歯止めを掛けたと分析するには早計である。

2005年度の事故が既に36名の増加となっている。統計を始めた1961年以降、統計の塗り替えに歯止めを掛けたと判断するには早計であると考えられる。死亡事故の増加にいたっては高齢者特に男性の単独行での事故が目立ってきているように思われ、その要因には山に対しての過信と総合的な衰え、体力、バランス、判断能力、循環器不全などメデイカル障害などが挙げられる。

2005年に入っても中部山岳地域で3000m級の山々で高齢者単独の遭難事故が毎週のごとく報道され、その殆どが死亡事故に至っている。また自然界でも大きな変化があり、新潟を初め多発する大規模な地震、温帯的な集中豪雨による被害も多く発生している。各地でおきる沢の遭難事故、白馬岳の土砂雪崩などもその因果関係にあると分析できる。また、最近の特徴として動物・昆虫の咬傷による事故が多発している。特に山行中スズメバチに刺され、ヘリで救助されるケースが頻りに起きている。活動の実態を把握し、困難をかかえている会への励ましや必要な援助を行い、各加入団体の活動の交流にも一層努力して欲しい。

(5)女性の登山活動  
 2004年6月、50歳代女性の事故件数が際立って多いとの衝撃的な報告に於いて、山岳事故全体の男女比率はほぼ半々の間に、なぜ50歳代の女性に事故が集中するのか。徹底的に分析、検討する必要がある。それに基づいた事故や遭難をなくす取り組みが真に差し迫った課題だと考え、女性会員の実態を把握するための「自己点検アンケート」を実施した。

集まったデータ数1200は必ずしも十分とは言えないが、ヒヤリ・ハットの回答欄の生々しい報告等、ゴミは減少傾向となり、水質調査や登山道整備、酸性雨調査などの活動が全国各地で広まりだした。

同時に、山岳自然と登山者の新たな関係を自然保護活動の中に取り入れる必要が出てきた。登山者が登山を躊躇うことなく参加できる環境を整える必要が出てきた。

26期は女性集会和各地の活動の成果がじわじわと浸透して、女性会員の技術学習や交流会開催の弾みとな

たり、認識の共有化が進

27期は「事故や遭難を起

女性担当者ネットワーク

この集会は、20年ぶりの開

(6) 登山界の共同の活動

10月初めに発生したパキ

(7) 登山をめぐる国際的

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

開催される、山岳4団体役

日本山岳会、日本ヒマラヤ

委員会の「結成と各組織の担

具体的な成果をあげるべ

(7) 登山をめぐる国際的

10月初めに発生したパキ

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

懇談を行なった。その際、

2006年の日本・ネパ

アシア山岳連盟(UAA

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

今年度中に、会員数が百

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

既成のルートやコースに

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

事故事例をもとにロープ

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

の活動を行う。

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

の現状はど

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

の3つのメディアを持って

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

の質の高い誌面の促進

大型クラブ交流会(仮

各地方連盟が、それぞれ

UAA) 総会と同時期

(1) 組織強化と拡大の活

「中期的な重要課題」の

減に歯止めをかける。その

また同じ日本山岳会の行

派遣した。毎年7月初めに

「認可共済」「無認可共済」ともいわれた。遭対基金も無認可共済に分類される。今回の保険業法改正では、無認可共済を①少額短期保険業者（小型保険会社の形態）、②特定保険業者、③保険業法適用除外保険業者に区分し、いずれかの保険事業者になることを求め、これ以外は保険事業者が行えないものとしている。

「少額短期保険業者」の登録・申請は、最低資本金1000万円と保険料に応じた供託金を必要としている。さらに、資産運用や保険料算定、保障額の限度額などのほか、年度ごとの業務報告など多くの点で保険業法による規制を受ける。

これからどうするか決めかねるところは、「特定保険業者」として登録することと2009年3月までは現行の組織のまま継続できるとしているが、期限満了には「保険会社」か「少額短期保険業者」が廃止かの選択が迫られる。また、「少額短期保険業者」と同様の規制を受けることになる。

「適用除外保険事業者」となるには認可が必要で、公益法人、企業内共済、学校内共済、商工会等は、例外として現状のままでも存続できる扱いになる。遭対基金は適用除外保険業者となるのがベストの選択だが、金融庁は保険の加入者を限定できなければ難しいとの判断を示している。

改正保険業法では、2006年4月1日の施行から6ヶ月後の9月末までに手続きを終えていなければ、これ以降新規の契約を引き受けることができない、また、2008年4月までに

保険会社として免許を取得するか、少額短期保険業者として登録しなければ、それ以降の新規の引き受けができないとされている。この法律については、「消費者保護を謳いながら、保険加入者の利益にならぬ内容になっていく」「団体の目的と連動させた共済活動を保険会社の経済活動と同一視規制するのは、結社の自由を阻害するものである」など法案審議の経過を含め、各方面から多くの疑問や批判がでてきている。「適用除外保険事業者」は政令で定める点から、自主共済は、積極的に除外規定をもとめていくべきとの意見もあり、法律への対応について、現実的な対応を担保しつつ拙速な判断を避け、他団体共済との協同しながら最善の可能性を追求すべく最後まで努力する。また、保険業法への対応の合意をつくるための討議資料をつくり、全国的討議を促進していく。

⑦ 登山界の共同活動について  
①引き続き4団体役員懇談会の場を、登山界共同活動推進のため、積極的に活用する。  
②個別課題での4団体やそれ以外の団体との懇談や、共同の集会の開催などで積極的なイニシアティブを発揮する。

③日本山岳レスキュー協議会など、日本山岳協会との遭難対策分野の共同活動を、可能なところから地方にも一層拡大する。

⑧ 新日本スポーツ連盟との協力について  
スポーツ・登山分野の民

主的な発展のため、活動の協力をさらに前進させる。また両者の組織上の課題の解決を含めて、協力の発展のための役員の懇談を今年度もおこなう。

⑨ 全国連盟の広域理事会、広域委員会の課題について  
全国理事会の構成が首都圏地域からの選出という現状から（全国役員選出規定による）全国各地域から多様な智慧と意見を反映させるひとつの手段として、新たに定める首都圏以外の全国5ブロックから選出した「広域理事」の制度の新設を提案する。この制度の導入は、全国連盟の提案について2006年度中に全国的に論議し、合意が得られれば2007年度2月の全国評議会で決定したい。

⑩ 広域理事会制度導入の前提として、規約の「首都圏に限定した全国理事の選出」の役員選出の規定を、「首都圏以外からの広域理事の選出」の項目を追加する。理事長、副理事長および事務局長は引き続き、首都圏から選出するものとする。

⑪ 「登山と平和」の活動について  
2005年度は戦後60周年という記念の年であったが、憲法9条の改憲を狙う危険な動きが急速に強まり、それに抗する知識人や民主勢力による活動も全国的に広がり、地域や各分野の「9条の会」が広範に結成され続けている。スポーツ分野では「スポーツ9条の会」が、登山の分野では「登山と平和」の活動が、登山界の先達達の犠牲と苦難の尊い教訓である。それらを踏まえて、今年もさまざまな組織や人々と協

同等の権利を有する。  
④ 広域委員会は、可能な限り各都府・委員会で推進する。広域理事の、専門部局・委員会の委員着任は妨げない。

⑫ 新全国連盟事務所の有効活用について  
新しい「不動産委員会」の選出と「不動産管理規定」を作り決定する。それらに基づき基金資産としての保全をしながら、全国連盟事務所としての有効活用を図っていきたい。

⑬ 「大日岳裁判」支援について  
大日岳裁判は富山地裁で2005年10月までに15回の公判が行われ、全ての証人尋問と審理がほぼ終わり、2006年1月11日に結審として3月末に判決が出る予定となった。この裁判は2000年3月、文部省（当時）管轄の登山研修所の大学生向けの冬山研修山行で、講師の誤った雪庇判断により生徒と講師20数名が雪庇に進入して休憩し、その崩落で11名が雪庇もろとも転落し、うち生徒の2名が行方不明となり、捜索の末遺体で発見されたもの。登山は事故の事実関係の把握と原告被告双方の主張や、文部省側が中心になって作られた「事故調査報告書」などを参考に検討した結果、調査報告書の結論も含めて文部省側に大きな誤りがあると判断した。また明らかに主権者責任があるにもかかわらず、遺族に謝罪しない態度は許されないとし、事故の真の原因を明らかにしそれを貴重な教訓として改めて事故報告書

を作るべきと考えた。そうであれば、国の機関として文部科学省登山研修所の主権する講習には信頼が持てなくなってしまうと感じた。

力しながら日本の平和を守り、日本を（戦争をする国）にしないための登山者としての自主的な活動を続けた。

（1）2005年2月に開催された第26期第2回評議会において、遭対基金の一部を不動産によって保全し、あわせてそれを全国連盟事務所として活用していくことを目的に、「遭対基金の不動産による保全」を提案し、承認いただきました。その骨子は、物件取得ガイドライン4項目（注）にもとづき、下記のとおりです。

① 具体的物件例（土地面積1633㎡、軽量鉄骨3階建て、取得時に要する総費用1億4500万円）を基準に、同程度の物件が売りに出るとの時間をかけて探し、よいものがあれば取得していく。  
② 具体的物件の検討・判断は、全国理事会に一任する。  
※（注）物件取得ガイドライン4項目

① 取得金額の上限は遭対基金保管額の1/3の約1億3000万円。取得関連費用および取得後の機能付加費用は約2000万円。合計で1億5000万円を超えない。  
② 財産として適正に保全できるもの。  
③ 公道に接道して、いつでも財産の変換が可能な物件であること。  
④ 売買価格が不動産鑑定額と僅差であること。  
⑤ 周辺環境が特に問題がなく、将来も資産価値が大きく減じる心配のないこと。  
⑥ 交通アクセスの利便性  
⑦ 山手線内のJR駅から徒歩10分程度以内であること  
⑧ 30〜40名程度の会議ができるフロア（80〜100㎡）があること。

# 遭対基金の保全のための不動産取得について

## 結果報告

（1）2005年2月に開催された第26期第2回評議会において、遭対基金の一部を不動産によって保全し、あわせてそれを全国連盟事務所として活用していくことを目的に、「遭対基金の不動産による保全」を提案し、承認いただきました。その骨子は、物件取得ガイドライン4項目（注）にもとづき、下記のとおりです。

① 具体的物件例（土地面積1633㎡、軽量鉄骨3階建て、取得時に要する総費用1億4500万円）を基準に、同程度の物件が売りに出るとの時間をかけて探し、よいものがあれば取得していく。  
② 具体的物件の検討・判断は、全国理事会に一任する。  
※（注）物件取得ガイドライン4項目

（2）これにもとづき、全国理事会はそのもとに「不動産委員会」を設置し、具体的な物件のあわせを「生活協同組合・消費者住宅センター」（住宅生協）に依頼しました。また、他社にも紹介を依頼しました。「不動産委員会」の構成は、次のとおりです。（委員長 石川友好、委員 川嶋高志、後藤功一、野口義夫、高橋友也、滝上肇（大阪府連））  
現在、東京では一極集中政策により、地価が上昇傾向にあります。2005年2月の全国評議会に提案した際のモデル物件もすでに売却済みとなっていました。このため、条件にあう土地を探しても見つかりませんでした。その結果、いくつかの物件が持ち込まれましたが、なかなか条件にあうものが見つからず難航していましたが、現在の事務所（神楽坂）から遠く離れたところで見つかった土地がみつかり、それを住宅生協を通じて取得し、8月24日に購入契約しました。

た。この物件は遭対基金の資産保全であるため、減価償却費相当分として支出した額は、遭対基金会計に繰り入れられることになりました。諸費用繰り延べ支出 95万円

不動産取得関連費用、設備費、什器備品費、引越費用等諸費用合計1914万円は、201㎡、価格は総額5810万円（建物工事費5510万円、消費税275万円）で、その他6万5千円）です。建物1階部分を会議室（面積70㎡）とし、2階を事務室、3階を多目的利用スペースとし、屋上には太陽光発電設備（ソーラー発電を設置します。建築工事には年明けから着手し、完成は6月初めころになる見込みです。

（4）上記により、不動産取得費用は土地価格7200万円、建築工事費5810万円（税抜き）、関連費用714万円（仲介手数料、消費税、不動産取得税、登記料、印紙代等）の合計1億3724万円となりました。これに、設備費（電話やOA機器の配線、警備保障機器設置費用等）、什器備品費、事務所移転費用等約1200万円を加えると、取得にかかるとの総費用は約1億4924万円となります。とりあえず、この分については遭対基金会計から一括支出することとします。また、新事務所を維持していくための年間の費用（ランニングコスト）は、下記のように試算されます。総額558万7千円

（3）取得した土地は下記のとおりです。  
住所 東京都新宿区新小川町1-08-24（最寄り駅・中央・総武線飯田橋駅より徒歩10分。面積1733㎡（52.3坪）、土地購入価格7200万円、仲介手数料222万円、登記は斉藤義孝・全国連盟理事長名で行いました。次に、その土地に建てる建物について、数社に照会し、見積もりをとりました。取得した土地がやや奥まった所であるため、重機や建築資材の搬入に制限がありますが、3階建、工事金額は5千万円台という条件を付し、数社に照会し、見積もりをとりました。これに対し、住宅生協もあぐめ、3社から引き合いがありました。それぞれ、工法は軽量鉄骨造、重量鉄骨造、鉄筋コンクリートです。慎重に比較検討した結果、軽量鉄骨造は耐用年数が短く、屋上も使えない、鉄筋コンクリートは価格が高すぎるなど、条件にあわず、積水ハウス機

# 里山 保護で25年

今年の五色台クリーンハイイクは、環境省・香川県・高松市・丸亀市・坂出市・国分寺町が後援をして11月13日に実施しました。参加者は、1800名。

香川労山の自然保護活動は、県内に大きな山や深い谷が無いこともあって、「里山の保護」に重点を置いている。五色台クリーンハイイクは1981年から25年間続いています。

残念なことは「毎年、同じ場所にゴミをわざと捨

## ゴミの山にならなかつた 香川の五色台クリーンハイイク

清掃活動を午前中で終え、



五色台クリーンハイイク全体集会 (香川県)

今年「五色台クリーンハイイク」は、環境省・香川県・高松市・丸亀市・坂出市・国分寺町が後援をして11月13日に実施しました。参加者は、1800名。

香川労山の自然保護活動は、県内に大きな山や深い谷が無いこともあって、「里山の保護」に重点を置いている。五色台クリーンハイイクは1981年から25年間続いています。

残念なことは「毎年、同じ場所にゴミをわざと捨



「低体温症」の実演

自然保護活動まで。討論では、労山自然保護憲章は「もっと分かりやすく、外に広げられる憲章にして欲しい」とする意見が多く出されました。

(北海道 今野平支郎・通信員)

## 自然保護憲章案を討議 第34回北海道登山研究集会

自然保護活動まで。

11月12・13日札幌市で第34回北海道登山研究集会が開かれ、2日間のべ320名が参加。

11日は苫小牧東病院副院長船木上総医師による「低体温症」についての講演と、実演(写真)があり、第2日は「一般登山部門」「遭難対策部門」「海外登山部門」「自然保護・環境保全部門」に分かれ、報告と討論をしました。

自然保護・環境保護部門では、地球環境から労山の

## 7団体で交流 清掃登山実施

高御位山で67名

11月12・13日札幌市で第34回北海道登山研究集会が開かれ、2日間のべ320名が参加。

11日は苫小牧東病院副院長船木上総医師による「低体温症」についての講演と、実演(写真)があり、第2日は「一般登山部門」「遭難対策部門」「海外登山部門」「自然保護・環境保全部門」に分かれ、報告と討論をしました。

自然保護・環境保護部門では、地球環境から労山の

## 共済規制で改正法の学習会

講師に学者・専門家

本年4月、広く「共済保険」に大きな規制の網をかける保険業法の改正が行われました。

来年4月からの施行に對して遭対基金はどのような対応が必要なのかを検討す

ため、10月25日、全国理事・基金管理委員を対象に、講師を招いて第2回目の学習会を開催。本間昭光先生(青山学院大学教授・保険論)には保険業法改正の背景と本質、共済制度の意義を、岩川修氏(保団連・事務局次長)、田中義郎氏(全商連・常務理事)からは、他団体共済での対応状況の講義を受けました。

# ふるさとを山を守れ!

### 比良八雲ヶ原の自然を取り戻す集い



山頂集いに登山者180名(比良山・八雲ヶ原ヒュッテ)

10月30日に第43回滋賀県登山祭典 山上の八雲ヶ原に約1800名が参加して比良八雲ヶ原の自然を取り戻す集いを実施しました。

ここは琵琶湖の西に聳える比良山地の中核部にある標高1000m近くの山間で、昨年まで比良スキー場がありました。40年以上営業してきたスキー場の諸施設は、来年から撤去、復原工事が始まります。

県連では跡地の人工物撤去、自然植生回復、特に半分ほど埋められた近畿地方では珍しい高層湿原である「八雲ヶ原」を50年前の姿に戻すことを求めて、この集いで「比良八雲ヶ原アピール」を採択しました。

斉藤全国理事長にも来て頂き、多くの方々の協力で感会に終えた集会でした。この問題はこれから始

11月6日、南牧村の山々をフィールドに第14回「ぐんま県民ハイイク・イン南牧村」を南牧村と共催した。

15年に前年に県連の各会の交流と南牧村の村おこし

午後から全体会を実施。参加者には、環境省からエコパック、かんぼの宿や休暇村から割引券や無料の入浴券が送られました。

(香川県 田中正人・通信員)

## 南牧村の村おこしも ぐんま県民ハイイク・イン南牧村

の一助になればと始め、今年には、276名参加で12のコースに分かれ、南牧の秋を楽しんだ。4ヶ月の準備期間を経て、当日を迎えた。コース担当の会が入

11月6日、南牧村の山々をフィールドに第14回「ぐんま県民ハイイク・イン南牧村」を南牧村と共催した。

15年に前年に県連の各会の交流と南牧村の村おこし

午後から全体会を実施。参加者には、環境省からエコパック、かんぼの宿や休暇村から割引券や無料の入浴券が送られました。

(香川県 田中正人・通信員)



一般参加者と交流(鳥帽子岳)

## 海外登山をスライドで講演

岐阜で40名参加

「あの日から山を見つめて5大陸の山を巡って」と題し、癌の治療後、環太平洋環境調査登山として、南北アメリカ大陸、東南アジアの山を調査した結果を交えて、各地の登山の様子をスライド上映しながら話していただきました。

今回の講演は、岐阜ケルン山岳会の会員の「海外登山などの講演を聴きたい」という要望にこたえて実施した。大垣労山などからも参加があり40人程が聴講。

(岐阜県 原田正彦・通信員)



講演する篠崎純一氏(10月1日)

## 各地で記念集会

徳島県勤労者山岳連盟30周年記念式典

10月1日(土) 徳島市ふれあい健康館にて開催。昨年世界第2の高峰K2に登った名会員の近藤和美氏に「世界の山と安全登山」と題して開催。

広島県勤労者山岳連盟30周年記念講演会

11月26日(土) 広島市まちづくり市民交流プラザにて開催。近藤和美氏による「世界の山と安全登山」と題して開催。



一ノ森ヒュッテの前で



広島県連30周年記念講演会

## 冬に向けて

遭対部

今、シーズンも暖冬傾向にあると気象庁が発表しています。しかし、暖冬と積雪量は比例しません。

入山する山域の気象の傾向、過去の遭難事例など情報を入手してください。そして、長期の天気予測と山行のシミュレーションを行い入山に備えてください。今シーズンこそ無事故を目指しましょう。



栃木県連30周年レセプション

# 労山割引施設の イベント情報

## 後生掛温泉・別館山水

(秋田県・八幡平)  
パウダースノーの秋田八幡平スキー場(初級者コースが中心)まで車で1分。5月連休まで滑れ、宿泊者には割引券を出す。  
また、本館の温泉は無料で入浴。蒸し風呂と下口湯がある。別館山水の予約時に労山会員割引を明示。  
割引: 0186・31・2311

## ホテル城ヶ倉

(青森県・八甲田山)  
ブナ原生林に囲まれた城ヶ倉温泉の一軒宿。外観は、北飯山小屋風リゾートホテル。館内は、しっくい壁と木のほりが落ち着いた雰囲気。また、陶器や絵画も多数展示してある。温泉大浴場は、全面ガラス張り。明るく開放的。露天風呂、ミストサウナも有り。  
割引: 0186・31・2311

## 国民宿舎 両神荘

(埼玉県・両神山)  
8月に「かけ流し露天風呂」を新設。12月から3月までお得な「湯治プラン」を実施。一泊2食付き7350円(消費税込)。2月になると福寿草や節分草が。労山会員カードで地酒1本又はグラスワイン。TEL 0494・79・1221

## あたら高高原ホテル

(福島県・安達太良山)  
本館の空で知られる東北の名峰「安達太良山」の中腹公園にあり、初夏から秋までは、岩手山登山、八幡平縦走などを楽しむ方が賑わいます。登山道の上の四ヶ所の小屋も今年ですべて改装を終え、より快適な縦走ができる様になりました。  
割引: 0195・78・26156



スノーシューパーク

## 夏沢鉱泉

(長野県・八ヶ岳)  
今年から冬季営業を開始。硫黄岳、天狗岳、根石岳の登山に便利。宿泊者は茅野駅から送迎。スノーシュー(レンタル有)・ネイチャースクール・雪見の温泉。  
割引: 0243・24・2246



冬期営業の夏沢鉱泉



雪の露天風呂

宿。白馬五竜スキー場まで1800m。八方尾根スキー場まで車で30分。《冬季のみのお得プラン》ご宿泊4名で1名無料(招待(年末年始等特定日を除く))。  
労山会員カードで10%の割引。TEL 0261・75・26000



北八ヶ岳で山スキー

割引: 0859・52・2518  
旅館 七滝荘  
(神奈川県・夏沢)  
夏沢大登山登山口の大山指に七滝荘があります。交通手段が不便で車の登山となりますが、宿泊された方々には次のサービスを実施。まず、下山口まで宿の車と宿泊者の車の2台で行き、宿泊者を宿の車で登山口まで送る。  
割引: 0554・52・2107

割引: 0428・78・8439  
山荘 石鐘山  
(高知県・石鐘山)  
霊峰石鐘山を真正面に望む。  
割引: 0428・78・8439

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508

# 06年ウインター情報 1月~3月

労山割引施設は労山会員カードの提示で割り引きされます。会員カードを持っていない会員の方は所属会を通じて手続して下さい。

割引: 0859・52・2518  
旅館 七滝荘  
(神奈川県・夏沢)  
夏沢大登山登山口の大山指に七滝荘があります。交通手段が不便で車の登山となりますが、宿泊された方々には次のサービスを実施。まず、下山口まで宿の車と宿泊者の車の2台で行き、宿泊者を宿の車で登山口まで送る。  
割引: 0554・52・2107

割引: 0428・78・8439  
山荘 石鐘山  
(高知県・石鐘山)  
霊峰石鐘山を真正面に望む。  
割引: 0428・78・8439

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508

割引: 0195・78・26156  
冬の木里家  
(長野県・白馬村)  
人好き、山好き、スキー好きのオーナーがもてなす。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

割引: 0266・67・5100  
大山ビューハイツ  
(鳥取県・大山)  
間に大山の北壁、遠く日本海の漁火を望む、冬にスキー場となる高原の中心の宿。登山の基地、スキー、その他会議・研修・スポーツ、レジャーと幅広く利用できます。  
割引: 0266・62・5197

## 本紙の通信員を募集

あなたの身近な山の出来事をニュースに。北海道から沖縄まで、各地の山で起きている小ネタ、記事や情報はあなたの通信員に。希望者は全国連盟事務局までご連絡ください。



猪俣文山下の楓と銀杏



花之江河の湿地帯

## 皆が「くさ」山のクイズ

問2 「20万分の1」地図の1枚の範囲内に、「労山ニュース」の感想や、最近行ってよかった山などをお書きください。(全面陸地として)。  
★応募方法  
官製ハガキに所属団体・氏名・住所・電話番号と「20万分の1」地形図を記入し、全国連盟へ送付してください。  
★前回の回答  
問1は②の9項目、問2は③の1997年

川溪谷入口にあり、東洋一のヤマメの群生で知られる。樹齢1200年の大杉の水室神社と伊奈ヶ湖へのハイキングも。鉱泉は、酸性鉄鉱泉で冷症・胃腸病に効く。一泊2食付税込8800円。日本秘湯を守る会会員。  
割引: 0556・22・5188

割引: 0556・22・5188  
ひなの湯旅館  
(長野県・浅間温泉)  
ひなの湯は、美鈴湖・美ヶ原方面への道路際にあります。建物は、木造和風です。お風呂は、源泉掛け流しです。収容人数は20名。宿泊料金は、2名以上で泊まるお一人はオール込みで、天城山、沼津アルプス、連磨山などを組み合わせて登る旅がベター。大仁城山。猪俣文山コースも富士山の眺め抜群です。  
割引: 0263・46・1508